



国立大学リスクマネジメント情報

2014(平成26)年12月号

<http://www.janu-s.co.jp/>

特集テーマ

図上と実動による防災訓練の実施

各国立大学では、地震等の大規模災害を想定して、積極的に防災訓練が行われています。本号では、海岸にキャンパスが隣接し、南海トラフ地震等による津波の到来が危惧される三重大学での図上訓練と実動訓練による先進的な防災訓練を、同大からご提供いただいた資料によりご紹介します。

1. 伊勢湾に隣接するキャンパス

三重大学上浜キャンパスは、三重県津市の伊勢湾に面した海岸に隣接しており、津波の到来時には、高台への避難が難しく、キャンパス内の建物高層部への避難と一定期間の孤立化が予測されています。

- ◆ 南海トラフでマグニチュード9.0の地震が発生した場合、60分で3~5メートルの津波が上浜キャンパスに到来、建物の3階以下が浸水すると予測。
- ◆ 上浜キャンパスから避難するために渡らなければならない江戸橋は震度6強の地震で落橋の危険。
- ◆ キャンパス、市内は随所で液状化のおそれ。

同大では、平成21年から3年ごとに中期防災体制整備大綱を定め、防災体制の整備を進めてきました。危機管理マニュアルの改訂、津波避難計画の作成、自家発電機の整備、食料・飲料・生活用品の備蓄が行われ、毎年度「三重大学防災訓練実施大綱」により、県、市、消防、自衛隊、赤十字等の関係機関と連携した訓練（図上、実動）が実施されています。

三重大学上浜キャンパス

◎ 伊勢湾に面する、三翠(波の翠、空の翠、樹の翠)キャンパス
◎ 5学部(人文学部、教育学部、医学部、工学部、生物資源学部)・6研究科(左記の5研究科+地域イノベーション学研究科)が同一キャンパス

伊勢湾
南門(水産門)
工学部
医学部
医学部附属病院
地域イノベーション学研究科
三翠ホール
人文学部
教育学部
教育学部
生物資源学部
附属図書館
正門
事務局
病院門
国道23号線
志摩川

大学概要

- 沿革
 - 昭和24年5月31日 三重大学設置
 - 平成16年4月1日 国立大学法人三重大学設置
- 学長: 内田洋正
- 教職員数: 約1,800名
- 学生数: 約7,300名
(学部生: 約6,150名、大学院生: 約1,150名)
- 留学生数: 約300名(非正規生含む)
- 国際交流数:
 - 大学間: 21カ国・地域、57大学・機関
 - 学部間: 19カ国・地域、33大学・機関

■敷地面積: 約550万㎡ (上浜キャンパス: 約53万㎡)
■建物延面積: 約32万㎡ (上浜キャンパス: 約29万㎡)
■学内教育研究施設等
○附属図書館
○附属病院
○附属学校(幼稚園・小学校・中学校・特別支援学校)
○附属紀伊・黒瀬生命地域フィールドサイエンスセンター(附属施設農場・演習林・水産実験所)
○練習船「勢水丸」(教育関係共同利用拠点)

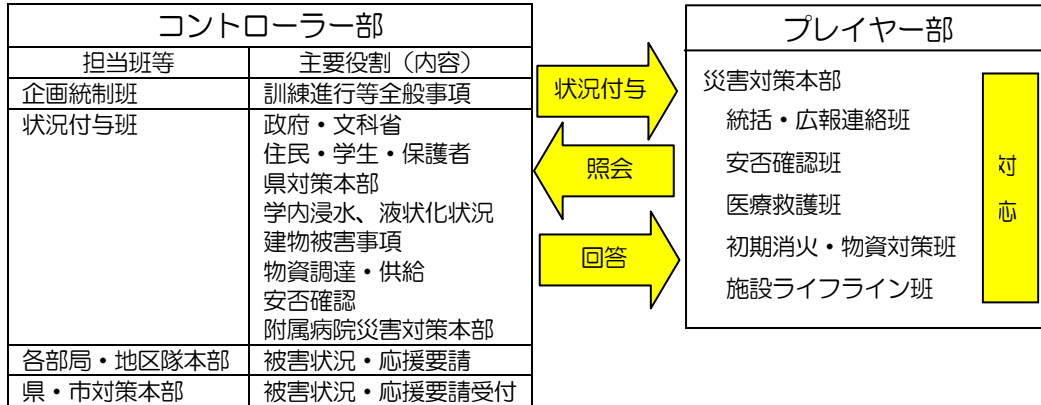
平成26年5月撮影



2. プレイヤーとコントローラーによる図上訓練

平成21年度の中期防災体制整備大綱で取組んだのが、図上訓練のやり方の習得です。地震や火災の発生を想定した消火訓練、避難訓練は実施してきましたが、図上訓練の経験はなく、まず、その実施方法の習得、そして、規模を少しずつ拡大し、平成23年度からは全学での訓練が実施できるようになりました。

図上訓練は、コントローラー部の各役割の者から、プレイヤー部（災害対策本部）に逐次状況が付与され、それにプレイヤー部の者が対応する方法で行われます。



コントローラーからプレイヤーへの状況の付与

(コントローラー) → (プレイヤー)

一連番号	付与時間	付与元（付与者）	付与内容（骨子）	付与先（対応先）										
				統括広報連絡班				医療救護班	安否確認班	初期消火・物資対策班		施設・ライフライン班		
				情報G	対策G	広報G	総務G			消火G	物資対策G	施設調査G	ライフラインG	
1	10:30	総合情報処理センター部局隊	火災情報	●						●				
2	10:31	学術情報部局隊	火災情報	●						●				
3	10:32	教育学部部局隊	人的・建物被害情報	●								●		
4	10:33	人文学部部局隊	エレベーター内閉じ込め情報	●										
5	10:34	教育学部部局隊	エレベーター内閉じ込め情報	●										
6	10:35	生物資源学部部局隊	エレベーター内閉じ込め情報	●										
7	10:36	医学部部局隊	人的・建物被害情報	●									●	
8	10:38	医学部部局隊	人的・建物被害情報	●									●	
9	10:39	人文学部部局隊	人的・建物被害情報	●									●	
10	10:40	工学部部局隊	建物被害情報	●									●	
11	10:41	高野尾地区隊（附属農場）	建物被害情報										●	
12	10:42	工学部部局隊	ライフライン被害情報											●
13	10:43	高野尾地区隊（附属農場）	人的・建物被害情報	●									●	
14	10:44	生物資源学部部局隊	人的・建物被害情報	●									●	
15	10:45	工学部部局隊	人的・建物被害情報	●									●	
16	10:46	生物資源学部部局隊	人的・建物被害情報	●									●	
17	10:47	工学部部局隊	建物被害情報										●	
18	10:48	附属病院災対本部	人的応援要請		●									
19	10:49	生物資源学部部局隊	ライフライン被害情報											●
20	10:50	工学部部局隊	人的・建物被害情報	●									●	
21	10:51	教育学部部局隊	ライフライン被害情報											●
22	10:52	医学部部局隊	エレベーター内閉じ込め情報	●										
23	10:53	観音寺地区隊（附属学校）	建物被害情報										●	
24	10:54	警備員（企画統制）	異臭情報（フロバンガス漏洩）	●										
25	10:55	美杉地区隊（演習林）	建物被害情報										●	
26	10:56	警備員（企画統制）	建物被害情報										●	
27	10:57	附属病院災対本部	人的応援要請		●									
28	10:58	観音寺地区隊（附属学校）	人的・建物被害情報	●									●	
29	10:59	医学部部局隊	ライフライン被害情報											●
30	11:00	人文学部部局隊	ライフライン被害情報											●
31	11:01	気象庁（企画統制）	気象情報（津波警報解除→津波注意報継続）	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
32	11:02	教育学部部局隊	人的・建物被害情報	●									●	



一連 番号	付与 時間	付与元 (付与者)	付与内容 (骨子)	付与先 (対応先)										
				総括広報連絡班				医 療 救 護 班	安 否 確 認 班	初期消火・ 物資対策班		施設・ ライフライン 班		
				情報G	対策G	広報G	総務G			消火G	物資対 策G	施設調 査G	ライフ ライン G	
33	11:03	滋賀大学 (企画統制)	物資提供申し入れ									●		
34	11:04	美杉地区隊 (演習林)	人的・建物被害情報	●										●
35	11:05	正門守衛 (企画統制)	地域住民情報			●								
36	11:06	人文学部部局隊	人的・建物被害情報	●										●
37	11:07	政府文科省 (企画統制)	被害把握				●							
38	11:08	教育学部部局隊	物資調達・供給要請 (簡易トイレ等)									●		
39	11:09	津市災害対策本部	鉄道 (近鉄線) の被害情報	●										
40	11:10	学務部部局隊	人的・建物被害情報	●										●
41	11:11	医学部部局隊	物資調達・供給要請 (簡易トイレ等)									●		
42	11:12	生命科学研究支援センター	人的被害情報	●										
43	11:13	教育学部部局隊	避難状況報告	●										
44	11:13	人文学部部局隊	避難状況報告	●										
45	11:14	高野尾地区隊 (附属農場)	ライフライン被害情報											●
46	11:15	医学部部局隊	負傷者発生状況					●						
47	11:15	三重県災害対策本部	幹線道路被害情報	●										
48	11:16	生物資源学部部局隊	避難状況報告	●										
49	11:16	高野尾地区隊 (附属農場)	負傷者発生状況					●						
50	11:16	医学部部局隊	避難状況報告	●										
51	11:17	生物資源学部部局隊	負傷者発生状況					●						
52	11:17	工学部部局隊	負傷者発生状況					●						
53	11:17	観音寺地区隊 (附属学校)	負傷者発生状況					●						
54	11:18	美杉地区隊 (演習林)	負傷者発生状況					●						
55	11:18	人文学部部局隊	負傷者発生状況					●						
56	11:18	正門守衛 (企画統制)	再度：地域住民情報			●								
57	11:19	医学部部局隊	人的被害情報	●										
58	11:19	教育学部部局隊	負傷者発生状況					●						
59	11:20	工学部部局隊	負傷者発生状況					●						
60	11:20	生物資源学部部局隊	負傷者発生状況					●						
61	11:21	観音寺地区隊 (附属学校)	人的被害情報	●										
62	11:21	工学部部局隊	負傷者発生状況					●						
63	11:22	医学部部局隊	負傷者発生状況					●						
64	11:22	津市災害対策本部	ライフライン被害情報											●
65	11:23	人文学部部局隊	避難状況報告	●										
66	11:23	工学部部局隊	避難状況報告	●										
67	11:24	附属図書館部局隊	人的・建物被害情報	●										●
68	11:24	人文学部部局隊	負傷者発生状況					●						
69	11:25	工学部部局隊	人的・建物被害情報	●										●
70	11:25	教育学部部局隊	負傷者発生状況					●						
71	11:26	人文学部部局隊	物資調達・供給要請 (食料等)									●		
72	11:27	生物資源学部部局隊	人的・建物被害情報	●										●
73	11:28	人文学部部局隊	建物被害情報											●
74	11:29	工学部部局隊	人的・建物被害情報	●										●
75	11:29	生物資源学部部局隊	負傷者発生状況					●						
76	11:30	教育学部部局隊	物資調達・供給要請 (食料等)									●		
77	11:31	生物資源学部部局隊	物資調達・供給要請 (食料等)									●		
78	11:32	美杉地区隊 (演習林)	ライフライン被害情報											●
79	11:33	工学部部局隊	物資調達・供給要請 (食料等)									●		
80	11:34	人文学部部局隊	物資調達・供給要請 (簡易トイレ等)									●		
81	11:35	生物資源学部部局隊	R1施設の被害状況											●
82	11:36	医学部部局隊	物資調達・供給要請 (食料等)									●		
83	11:37	附属病院災対本部	遺体安置用建物の提供受けについて問い合わせ		●									
84	11:38	マスコミ (企画統制)	三重大被害状況の問い合わせ			●								
85	11:39	人文学部部局隊	人的被害情報	●										
86	11:40	マスコミ (企画統制)	三重大被害状況の問い合わせ			●								
87	11:41	医学部部局隊	建物被害情報											●
88	11:42	観音寺地区隊 (附属学校)	ライフライン被害情報											●
89	11:43	人文学部部局隊	津波被害状況	●										
90	11:44	生物資源学部部局隊	津波被害状況	●										



一連 番号	付与 時間	付与元 (付与者)	付与内容 (骨子)	付与先 (対応先)								
				総括広報連絡班				医療 救護班	安否 確認班	初期消火・ 物資対策班		施設・ ライフライン 班
				情報G	対策G	広報G	総務G			消火G	物資対 策G	
91	11:45	工学部部局隊	津波被害状況	●								
92	11:46	教育学部部局隊	津波被害状況	●								
93	11:47	社会連携研究センター部局隊	人的被害情報	●								
94	11:48	医学部部局隊	津波被害状況	●								
95	11:49	三重県災害対策本部	活動拠点使用要請		●							
96	11:50	政府文科省 (企画統制)	被害状況報告催促				●					
97	11:51	教育学部部局隊	人的・建物被害情報	●							●	
98	11:52	生物資源学部部局隊	物資調達・供給要請 (簡易トイレ等)							●		
99	11:53	生物資源学部部局隊	負傷者発生状況	●				●				
100	13:02	生命科学支援センター	人的・建物被害情報	●							●	
101	13:05	津市災害対策本部	鉄道 (JR) の被害情報	●								
102	13:10	三重県災害対策本部	道路被害情報	●								
103	13:15	職員宿舎 (烏居住宅) (企画統制)	人的・建物被害情報	●							●	
104	13:17	医学部学生 (企画統制)	問い合わせ			●						
105	13:18	医学部部局隊	物資供給要請 (食料等)							●		
106	13:19	教育学部部局隊	物資供給要請 (食料等)							●		
107	13:20	人文学部学生 (企画統制)	問い合わせ			●						
108	13:22	職員宿舎 (観音寺住宅) (企画統制)	人的・建物被害情報	●							●	
109	13:23	高野尾地区隊 (附属農場)	負傷者発生状況					●				
110	13:24	教育学部学生 (企画統制)	問い合わせ			●						
111	13:25	栗真中山地区隊 (平林)	人的・建物被害情報	●							●	
112	13:27	三重県災害対策本部	グラウンド使用の打診		●							
113	13:28	観音寺地区隊 (附属学校)	物資調達・供給要請 (食料等)							●		
114	13:30	美杉地区隊 (演習林)	人的・建物被害情報・物資調達供給要請	●						●	●	
115	13:31	高野尾地区隊 (附属農場)	物資調達・供給要請 (食料等)							●		
116	13:32	神戸大学 (企画統制)	物資等提供申し入れ							●		
117	13:34	美杉地区隊 (演習林)	人的被害情報	●								
118	13:35	志摩地区隊	人的・建物被害・物資供給要請	●						●	●	
119	13:37	松阪港地区隊	人的・建物被害情報	●							●	
120	13:39	教員家族 (企画統制)	家族からの問い合わせ&伝言依頼			●						
121	13:40	保護者 (企画統制)	保護者からの問い合わせ			●						
122	13:41	三重県災害対策本部	勢水丸応援要請の打診 (協定の履行)		●							
123	13:42	社会連携研究センター部局隊	人的被害 (工事関係者)	●								
124	13:43	人文学部部局隊	物資調達・供給要請 (食料等)							●		
125	13:44	学務部部局隊	人的被害 (第2食堂)	●								





図上訓練実施上のポイント

株式会社インターリスク総研
(立命館大学 経営学部)
特別研究員 小林 誠

1. 事前準備

1) 訓練目的の明確化と方針の決定

対象とする災害、対象となる訓練分野、訓練実施の目的・ポイント

2) 被害および対応状況を設定する

前提条件の決定(発生時刻・季節・規模等)、全体被害・社会的状況設定、地区別被害・社会的状況の設定、時間別状況推移の設定、個別グループ別設定、状況付与カード作成

3) 参加者のグループ分け

4) 司会・進行のための準備

レジメ、スライド、プレゼンの準備、状況付与カードの配布のタイミング・時間など

5) 事前に配布しておく小道具類

地図、大学・自治体の防災計画・緊急対応マニュアルなど、ホワイトボード、模造紙、マジックペン、サインペン、付箋、ホチキス・クリップ、電卓、定規、はさみ、PC、プリンタ、状況付与カード、書類受け、参加者名札、グループ名立て札、コピー機など

2. 訓練実施

1) 訓練のオリエンテーション

役割の徹底、実施手順、状況付与カードの処理方法、ルールなど

2) グループごとの作戦会議の実施

グループ内での役割分担、自己紹介など

3) 訓練の実施・展開

4) 結果の評価および講評

3. 訓練実施により確認され対応上の問題点と課題のまとめ

⇒ 参考

「図上シミュレーション訓練 訓練企画マニュアルー日本赤十字社都道府県支部編一」
(平成18年3月)

http://www.jrc.or.jp/activity/saigai/pdf/saigaikyugo-1_document.pdf



3. 津波避難実動訓練、仮設診療所開設実動訓練

平成25年12月10日に行われた実動訓練では、前段として津波避難行動、初期消火活動、物資配分活動の訓練が行われ、後段として陸上自衛隊、三重県、津市、日本赤十字社三重県支部の協力を得て三重大学仮設診療所（野外科）の開設・運営訓練が行われました。

津波避難訓練等実施要領

No	「訓練項目」 訓練時間等	訓練想定 (状況)	訓練内容等	実施部局等
1	「津波避難訓練」 10:20 ～ 避難完了まで。	気象庁からの大津波警報発表に伴い、津市災害対策本部は、沿岸地域の住民に対して避難指示を発令した。 大学（災害対策本部長）は、直ちに避難を実施する旨、上浜キャンパス内の各部局等に緊急放送システムによる「避難指示」を放送した。	1 上浜キャンパスの学生、教職員等は緊急放送により「三重大津波避難基本計画」及び「津波避難行動の手順（手引き）」（例）に基づき学内建物の5F以上に避難を実施する。 付紙第1「津波避難計画」（危機管理マニュアル抜粋） 付紙第2「津波避難行動の手順（手引き）」（例） 2 避難完了後、教職員の安否確認数を本部室安否確認班に報告（第1報：避難完了時刻、人員数及び避難経路上の問題点等→電話・簡易無線機） 3 訓練中に異常が発生した場合は、本部隊総括広報連絡班対策G、又は通信（情報）G等に第1報を報告（電話・簡易無線機）する。 4 TEL番号：別示、無線チャンネル：オールを使用	◆ 全部局隊学生、教職員等 ※ 附属学校、附属農場、演習林、水産実験所、勢丸については、各所属長の計画による。
2	「初期消火訓練」 10:25 ～ 訓練終了まで。	地震発生直後、学内の数棟の建物から火災が発生した。	○ 初期消火Gは、直ちに初期消火を実施するとともに、必要な延焼防止を図る。（防火戸・シャッター閉鎖等）（消火活動の場所・火点等は、初期消火G長の計画による。） ※ 訓練参加者全員が体得するまで訓練を実施する。 （想定外として実施する。）	◆ 本部隊初期消火G ◆ 学務部部局隊初期消火G ◆ 各学部等は、各学部長等の計画による。
3	「物資配分訓練」 10:23 ～ 配分完了まで。	当分の間の、食料の供給は、見込めない状況にある。 備蓄食糧等の配分を避難行動前に実施することに決定した。	1 事務局部局隊の要員（本部室要員を除く。）は食料を受領し、避難行動に移行する。（附属病院5Fに避難する。） 2 食糧受領場所：財務部契約T前	◆ 本部隊物資対策G ◆ 事務局部局隊 ★ 各部局隊は、各部局隊の計画による。

仮設診療所開設訓練種目別概要

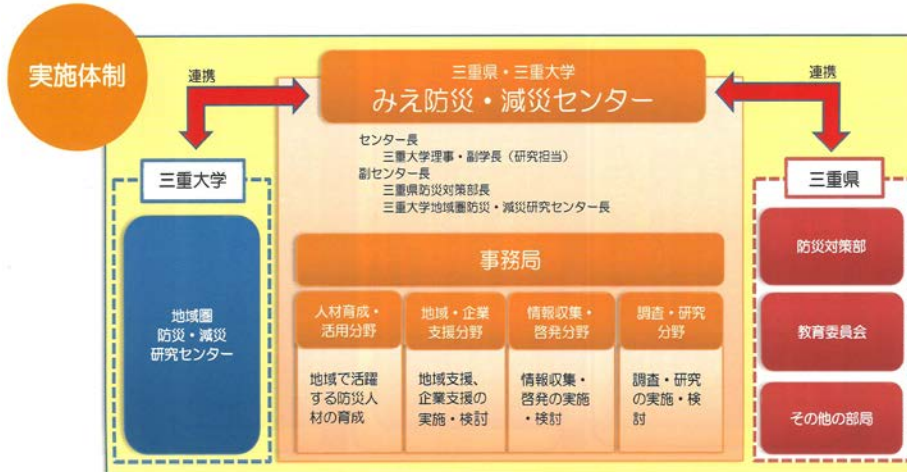
訓練種目	場所	実施時間 (予定)	実施概要	実施機関名
◆ 病院災对本部の開設	附属病院	10:40 (想定上)	・附属病院内に開設する。 ・現地仮設診療所との連絡等を実施する。	附属病院
◆ 三重県医療本部の開設	三重県庁 (県施設)	10:23 (想定上) 13:00 (実行動)	・主に発災からおおむね6時間経過頃までの情報収集・共有のあり方を附属病院現地本部間と実施する。（拠点病院の被害・移転状況、患者受け入れの可否等）	三重県健康福祉部
◆ 三重大現地本部の設置	三重大 陸上競技場	12:30 ～ 13:00	・現地本部を設置する。 ・三重県医療本部との連絡調整等及び仮設診療所内各機関等との連絡調整を実施する。	附属病院
◆ 各機関救護所等用テント・施設の設置・開設		13:00 ～ 13:40	・別紙第1「訓練会場配置図」に示す場所に、各機関のテント・施設等を設置・展張する。 ・細部は、現地本部との調整による。 ・自衛隊の緊急手術システムを除く。（事前準備可）	附属病院、自衛隊、津市北消防署、日赤
◆ 患者搬送（地上） ↓ ◆ トリアージ		13:40 ～ 14:10	・消防の救急車は、講堂東側にて患者を収容し、（生体：三重大）競技場外周道を走行し、トリアージテント付近において卸下し、三重大医療チームに引き渡す。 付紙第1「救急車患者搬送経路」	津市北消防署 三重大各部局等
◆ トリアージ		13:50 ～	・附属病院の医療チームがトリアージ等において搬送患者に対して実施する。	附属病院、
◆ 患者収容・治療		14:20 ～	自衛隊緊急手術システム等を活用し、医療チームとの連携・医療活動を実施する。	附属病院、自衛隊、津市北消防署、日赤
備考				1 訓練の現地統制等は、企画統制班が実施する。 2 付紙第2「訓練イメージ」参照。 2 付紙第3「トリアージ用VS」（別途限定配布）

平成26年12月8日の訓練では、午前中、津波避難行動、物資配分活動の実動訓練が行われ、午後には図上訓練が行われました。図上訓練では、前年の仮設診療所開設の実動訓練を踏まえ、発展させ、近隣する七栗サナトリウムへの災害拠点病院移転の図上訓練が取り入れられました。



4. みえ防災・減災センター

三重大では、以上のように防災体制の整備、図上と実動による日常的な訓練に取り組んでいます。平成26年4月1日には、「三重県・三重大 みえ防災・減災センター設置に関する協定」を締結、三重大内に共同でのセンターを設置し、県と大学が相互に連携・協力して防災に関する人材育成・活用、地域・企業支援、情報収集・啓発、調査・研究等に取り組んでいます。



- センターの職員数 事務局長1名、災害対策コーディネーター2名、専任教員2名、事務補佐員5名、三重県職員2名（駐在） 他三重大学教員数名が併任
- センターで実施する防災人材育成事業の例

三重大大学

さきもり塾 防災人

さきもり塾 新年度生募集

三重県の防災・減災活動を担う人材を育てます。

新年度生募集

さきもり塾

- みえ防災さきもりコース: みえ防災さきもりコースを修了すると「(仮)みえ防災さきもり」として認定されます。カリキュラムは7つの科目から構成され、定められた修了条件に従って履修します。
- みえ防災修習コース: みえ防災さきもりコースのカリキュラムの中の1科目を履修します。(希望者は他の科目の履修も申請すれば履修することができます。)

【入塾の対象とする人物】

- 三重県地域の住民の方 (自主防災組織、自治会のリーダーなど)
- 三重県地域の少年に勤務する人 (災害対策や卒業後統計調査担当者など)
- 三重県地域の地方公務員 (災害対策や防災の推進立案担当者、教員など)

課 程	共通日程 (予定)	開 講 日 (予定)
みえ防災さきもりコース	入塾式 平成26年4月19日(土)	平成26年度 (土曜日 13:00~18:00) [全26回] ■前期 (4~7月) 13回 ■後期 (9月~2月) 13回
みえ防災修習コース	卒業式 平成27年3月14日(土)	平成26年度 (土曜日 13:00~18:00) [全5回] ■前期 (4~7月) 5回 (希望者は他の科目も申請すれば受講可)

【出願資格】

①学校教育法第83条第1項に定める大学を卒業した方
(出願資格審査により、大学を卒業した方と同以上の学力があることを認め方)

例えば、

- 防災・減災の活動実績のある方
- 企業・行政等における防災・減災関連の実務経験のある方

※出願資格審査については、募集要項でご確認ください。

【募集要項の請求方法】

募集要項の請求方法には以下の方法があります。詳細は募集要項でご確認ください。

(1) 郵送
本人の住所・氏名・郵便番号を明記して、240円分の切手を貼付した返信用封筒 (角形2号 322mm×249mm) を封筒にし、「美し国おこし・三重大さきもり塾募集要項請求」と書き添えてください。

(2) インターネット
「美し国おこし・三重大さきもり塾」のWEBサイトからダウンロードしてください。 <http://www.sakimori.eng.mie-u.ac.jp>

【スケジュール】

- 出願資格審査申請期間: 平成26年2月4日(水)~2月12日(水)
- 出願資格審査結果通知: 平成26年2月19日(水) 以降
- 出願期間: 平成26年2月4日(水)~2月28日(金)
- 入学: みえ防災さきもりコース生: 平成26年3月9日(日) / みえ防災修習コース生: 平成26年3月中旬
- 合格発表: 平成26年3月中旬
- 入塾手続: 平成26年3月中旬~下旬
- 開校: 平成26年3月中旬~下旬

お問い合わせ先

三重大大学
美(うぶ)し国おこし・三重大さきもり塾事務局

〒514-8507 三重県津市南高師町 1577
TEL: 059-231-9861
FAX: 059-231-9862
Mail: sakimori@dimio.mie-u.ac.jp
<http://www.sakimori.eng.mie-u.ac.jp>



H26. 11 月

大学リスクマネジメント News PickUp

<Web 上のニュースから検索>

<大学の管理・経営>

- 11. 11 ○大学と市は、キャンパスでオーストラリア原産で毒をもつ「セアカゴケグモ」計106匹と197個の卵のうを発見し駆除したと発表。
- 11. 11 ○大学の学生など3人が公務執行妨害の疑いで逮捕された事件で、警視庁はこのうち2人が住んでいた学生寮を捜索。同大では4日に構内への私服警官の無断立ち入りがあり副学長が遺憾のコメントをしていた。
- 11. 14 ○大学で放射性物質の酢酸ウランを紛失していることが判明。原子力規制委員会に報告、警察に届出。

<事件・事故>

- 11. 10 ○大学病院の医療ミスで、肺の一部が切除され呼吸機能が低下し、日常生活に支障が出たとして大学に約2600万円の損害賠償を求め提訴。慰謝料の金額で合意できなかった。
- 11. 14 ○大学病院で腹腔鏡を使う高難度の肝臓の手術を受けた患者8人が死亡した問題で、厚労省は事実関係などの調査を行う方針を決定。
- 11. 17 ○大学で、有毒の化学物質を使って実験中に爆発が起こり、学生5人がケガ。
- 11. 18 ○大学病院で十二指腸腫瘍摘出の腹腔鏡手術を受けた患者1人が死亡し、大学は家族に謝罪。
- 11. 22 ○大学病院で、廊下などに火炎瓶のようなものが投げ込まれ、フロアの床や壁の一部が燃焼。
- 11. 29 ワシントン州の大学に留学中の日本人の学生4人が乗った乗用車が、中央線を越えて反対車線にそれて横転し、1人が死亡、3人が負傷。

<入試等ミス>

- 11. 26 ○大学は、推薦入試で出題文のミスがあり、この問題を全員正解に。
- 11. 28 ○大学は、推薦入試の数学の問題で出題ミスがあり、受験した39人全員を正解にしたと発表。

<ハラスメント>

- 11. 19 ○大学は、約2年間にわたって学生に「バカ」などと日常的に暴言を吐くなどのアカデミックハラスメントを繰り返したとして教授を1ヶ月の停職処分。
- 11. 20 ○大学は、研究室の部下に退職や休日出勤を強要するなどのパワハラを繰り返したとして教授を懲戒解雇。

<学生・教職員の不祥事>

- 11. 10 ○大学のパート職員ら2名が大麻を所持していた疑いで逮捕。
- 11. 11 ○大の男性職員が盗撮目的で共用トイレに侵入したとして建造物侵入容疑などで書類送検。
- 11. 15 ○大学の元教授が業者からの物品の購入を装って1490万円をだまし取ったとして、警視庁は、経理を担当していた非常勤職員の元秘書や業者の2人とともに詐欺の疑いで逮捕。
- 11. 16 ○署は、女性にわいせつな行為をしたとして、○大学の留学生を強制わいせつの疑いで逮捕。
- 11. 28 ○大学の学生がダンスクラブで客の財布を盗んだとして窃盗容疑で逮捕。同大では、別の二人の学生も同様の盗みで逮捕されている。

<不正行為>

- 11. 5 ○大学は、実際には泊まっていないのに宿泊費を申請するなど出張費の不適切な受給が92件あったとして、教授を停職2か月の懲戒処分とし、約293万円を返還させた。
- 11. 6 製薬会社大手ノバルティスファーマの高血圧治療剤をめぐる論文データ改ざん事件などを受け、厚労省の有識者検討会は法規制が必要とする報告書の骨子案を大筋了承。
- 11. 11 ○大学の准教授が寄附金を目的外に支出するなど不適正な処理した上、大学への報告を偽ったとして出勤停止3日間の懲戒処分。
- 11. 21 ○大学の准教授が、過去の2つの論文でほかの研究者の論文を盗用していたことがわかり、解任の懲戒処分。

配信について

本誌は、各国立大学・大学共同利用機関の国大協保険ご担当者、国大協連絡登録先、ご登録いただいた方にメールで配信させていただきます。 (無料) 配信登録、解除は弊社ホームページからお願いします。 ⇒ <http://www.janu-s.co.jp/>

情報提供のお願い

各大学等でのリスクマネジメントに関する取組み、事故・事件への対応のご経験、ご感想、ご要望等をお寄せください。
⇒ info@janu-s.co.jp

バックナンバー

- 14. 11月 過労死防止法と安衛法改正
 - 14. 10月 噴火災害と保険適用
 - 14. 9月 災害時の大学間連携
 - 14. 8月 国立大学の地区災害連携協定
 - 14. 7月 賠償責任保険のポイント (2)
 - 14. 6月 賠償責任保険のポイント (1)
 - 14. 5月 財産保険のポイント
 - 14. 4月 国際交流活動対応支援セミナー報告
- ※弊社ホームページからダウンロードできます。

発行 有限会社 国大協サービス
東京都千代田区神田錦町3-23

協力 株式会社インターリスク総研
三井住友海上火災保険株式会社